

平成29年8月号
NO. 13

住所 姫路市打越1339番地
電話 079-266-5700
FAX 079-266-5644
<ホームページ>
<http://himeji-taiyo.com/>

太陽だより



七夕

七夕が、「日中合作」だった！って、知ってましたか
日本に古くから伝わる七夕は、日本の古い禊行事である
棚機(たなばた)と古代に大陸から伝わった「おりひ
めとひこぼし」の伝説、同じく奈良時代に伝わった「乞
巧奠(きこうでん)」が合わさってできあがったという言
い伝えがあります。



縫の上達を願ったことも、字や芸事の上達から願い事ま
で含められるようになり、盛んになっていったようです。

7月7日一日だけ会
うことが出来るロマンチッ
クなストーリーと思いが
ちですが、ほんとは墮落
した男女に神様が罰を与
えたという話には驚かさ
れました。機織りと裁



太陽でも毎年山から笹を切り出し、皆様の願いを飾
り付けていますが、多くの方が健康維持と美味しいもの
を食べたいと願われていました

約1か月の間飾られた笹飾りは8月7日に願いを聞き
届けて頂けるようにと焚かれて天に舞い上がっていきま
す。

1号館西棟たより 流しそうめん

梅雨も明け、暑い夏がやってまいりましたが、
今年は皆様に涼感を感じて、暑さをフツ飛ばし
て頂くとうとう1号館前の駐車場を借りて流しそ
うめんを行いました。



当日は朝から曇りがちで昼の一時過ぎから
パラパラし始めましたが、参加された皆さん
とスタッフは気に掛けることもなく竹の樋の
中を流れ落ちるそうめんを、箸を使って掬い
上げて食べられていました。



早く流れるそ
うめんをうま
く掬えず悪戦
苦闘されると
笑い声此起彼
れました。

「待ちきれません」
「早く！早くー」
「あなたからどうぞ」
「冷たくておいしい」



最後にデザートも頂いて皆様は満足されてフ
ロアに戻られました。来年も頑張って行いたいと
思います。

2号館たより 田植えをしました

昔田植えをされていた方とまったくしたことがない方が協力して小さいながらも2号館の玄関前のプランターを使って遅れていた田植えをされました。



収穫が楽しみだ

例年秋には収穫されて、皆さんが小さな秋の幸せをかみしめておられます。

さあ、田植えするぞ

懐かしいわ!

秋の田の
かりほの庵の
苫をあらみ

わが衣手は
露に濡れつつ

詠み人
知らず



1号館4階たより 団扇作り

4階では、団扇に飾りを張り付けてオリジナル団扇を作りました。

団扇の歴史は古く、紀元前3世紀の漢の時代までさかのぼるそうです。当時はまだ薄い紙が発明されていませんから、薄い木の皮などを使っていたのでしょうか。

平安の時代に一時扇子が流行り団扇はあまり使われなくなりましたが、戦国時代の軍配団扇から復興し江戸時代より庶民にも使われるようになりました。今でも京団扇と丸亀団扇、房州団扇が有名ですね。



好きな絵柄の紙を団扇の裏表に貼り、記名をして完成した団扇を眺めたり、周りの方を扇がれながら昔話に花を咲かせて楽しいひと時を送られていました。

季節の果物

本格的な暑い季節を迎えましたが、皆様方に置かれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、8月というと「山の日」というのもっとも新しい祝日になりますね。「山の日」は、7月第3週の月曜日に造られた「海の日」に対抗して作られた祝日と思っていました。真相は8月の消費低迷を打破するために経団連が後押しして作らせたようですね。理由はどうあれ、働く者には朗報ですね。



無花果(いちじく)

暑い8月の果物にイチジクを取り上げました。イチジクはアダムとイブの次回から存在した古い果物です。主な産地は、愛知、和歌山、福岡、兵庫で、淡路産は有名ですよ。太陽では、地産地消として、太子町の物を提供させていただきます。効能としては、胃腸の働きを整えて消化を助け、高血圧予防の効果も期待できますので、皆様もぜひご賞味ください。



～ 火祭りのついでのお知らせ ～

平素は 格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。遅くなりましたが、8月10日に行います太陽グループ主催 **火祭り** のポスターが出来上がりましたので、利用者様家族及び関係者様に送らせていただきます。当日は、皆様お誘いの上ご来場くださいますようお願い申し上げます。